

研究機関：広島大学

研究課題名	広島大学病院の内科外来における糖尿病療養指導プログラム導入が患者の療養行動に与える影響
研究責任者名	広島大学病院 看護部 看護師長 八木恵子
研究期間	倫理委員会承認後～2024年12月31日
対象者	2016年1月から2021年9月の間に、広島大学病院内分泌・糖尿病内科で糖尿病による治療を受けられた患者さん。
意義・目的	看護師による糖尿病療養指導について、外来で行う指導の充実が求められていますが、大学病院の外来で指導のプログラム導入等は行われていませんでした。2019年4月に、広島大学病院の外来で糖尿病療養指導時にプログラム導入を行いましたので、このプログラム導入前後で、患者の療養行動にどのような差異が生じたかを検証し、今後の療養指導の在り方への示唆を得ることを目的としました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は看護記録、診療記録の年齢、性別、身長、体重、病名、糖尿病にかかっている期間、血液検査（HbA1c,GA 値）です。上述の情報を使用して、共同研究機関と共同で解析します。共同研究機関に提供する際には、個人が特定できる情報を削除し、誰のものが分からないように加工した上で、提供します。
共同研究機関	訪問看護ステーション レスピケアナース 浅野 悠佳
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 看護部 看護師長 八木恵子
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5464 広島大学病院 看護部 看護師長 八木恵子